



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 シモジマ

コード番号 7482 URL <https://www.shimojima.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠井 義彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役上席執行役員経営企画本部長 (氏名) 小野寺 仁 TEL 03-3862-8626

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	44,604	6.3	3,135	70.7	3,420	62.9	2,271	54.8
2023年3月期第3四半期	41,969	15.5	1,836	742.5	2,100	344.6	1,467	457.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,307百万円 (68.3%) 2023年3月期第3四半期 1,371百万円 (787.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	97.42	-
2023年3月期第3四半期	63.00	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	43,724	34,508	78.8	1,476.06
2023年3月期	40,023	32,679	81.5	1,399.70

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 34,441百万円 2023年3月期 32,616百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	11.00	-	11.00	22.00
2024年3月期	-	11.00	-	-	-
2024年3月期 (予想)	-	-	-	29.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	5.4	3,300	64.1	3,650	52.8	2,400	55.6	102.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	23,647,826株	2023年3月期	24,257,826株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	314,141株	2023年3月期	955,338株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	23,321,211株	2023年3月期3Q	23,289,957株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年12月31日)における我が国経済は、政府による新型コロナウイルスに対する行動制限が緩和されたことを受けて経済活動が緩やかに回復してきました。しかし、原材料やエネルギー価格の高騰などに起因した物価の上昇、地政学リスクの高まり、金利や為替の変動幅の増大など、依然として景気の先行きが不透明な状況にあります。

当社グループが属する業界においては、脱プラスチックの流れはますます加速しています。インターネット通販市場の拡大や、催事・イベント関連資材の需要が回復するなど、消費行動は引続き大きく変化しています。

このような状況のもとで、当社グループは、「“パッケージ×サービス”でお客様に元気を届けるトータルパートナーを目指す」と定めた長期ビジョンの実現に向けて、中期経営計画に沿った活動を継続しております。

(なお、2023年11月9日に中期経営計画の目標数値を一部修正しております。詳しくは、同日開示しております「中期経営計画の目標数値修正と中期経営計画達成に向けた新たな施策に関するお知らせ」をご覧ください。)

URL : <https://www.shimajima.co.jp/ir/news.html>

### (販売部門別活動の状況)

当社は、営業販売部門、店舗販売部門、通信販売部門の3つのチャネルを有しています。

営業販売部門では、環境配慮型商品や既製品の主力商品の拡販と特注品の受注活動に注力いたしました。経済活動の回復に伴い全国的に催事・イベントが活発化し、関連資材の需要が拡大したことに加え、対面営業も復活したことで売上は増加いたしました。

店舗販売部門ではイベント、インバウンドや飲食店向け資材の需要回復に伴い、店内における商材の品揃えを充実させたことで、売上は増加いたしました。

通信販売部門では、「シモジマオンラインショップ」において、会員数は順調に伸び、注文単価も上昇しました。さらにメーカー直送に特化した「シモジマモール」、お客様のオリジナル商品を作成する「シモラボ」への出品の案内を取引先各社に対し活発化させたことで、掲載商品点数が増え、売上は増加いたしました。

これら各チャネルの販売活動効果により、グループ全体の売上は、前年同期比で引続き増加いたしました。

利益面では、売上が堅調に推移したことで売上総利益が増加いたしました。また、物流費をはじめとする販売費及び一般管理費の抑制に努めたことにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前年同期比で増加いたしました。

この結果、連結売上高は446億4百万円(前年同期比6.3%増)、連結営業利益は31億35百万円(前年同期比70.7%増)、連結経常利益は34億20百万円(前年同期比62.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億71百万円(前年同期比54.8%増)となりました。

### (商品セグメント別活動の状況)

当事業は主に紙製品事業、化成品・包装資材事業、店舗用品事業の3つの商品セグメントで構成されています。

当期は催事やイベントが復活したことにより、特に化成品・包装資材事業において、関連資材の需要が拡大いたしました。

#### [紙製品事業]

紙製品事業は、当社創業以来の主力事業としてオリジナルブランドの紙袋、包装紙、紙器を中心に販売しております。個人消費、インバウンド需要などの回復、脱プラスチックによる紙製品へのシフトの動きが追い風となり売上は増加いたしました。その結果、紙製品事業全体の連結売上高は78億14百万円(前年同期比2.7%増)となりました。

#### [化成品・包装資材事業]

中核の化成品・包装資材事業においては、ゴミ袋、レジ袋、コップなどの主力商品の販売が好調に推移しました。さらに環境配慮型商品の開発と拡販に積極的に取組んだ結果、化成品・包装資材事業の連結売上高は263億74百万円(前年同期比8.9%増)となりました。

#### [店舗用品事業]

店舗用品事業においては、「店舗及びオフィスで使用するあらゆるものが揃う」をコンセプトに取組んでおります。当期はインバウンド需要が回復傾向にあり、飲食業界向けの資材も好調に推移した結果、店舗用品事業の連結売上高は104億15百万円(前年同期比2.6%増)となりました。

(当四半期における重要なトピックス)

1. パッケージプラザ綾瀬店OPEN

当社は、11月6日に東京都足立区綾瀬に売り場面積50㎡弱の狭小店舗であるパッケージプラザ綾瀬店をOPENいたしました。

お客様にとって最適なチャネルで商品をご提案する「シモジマ型オムニチャネル」を推進する実証店舗として、実店舗と外商員、そしてECを組み合わせて展開しております。

2. 「シモジマの森」 植林活動開始

当社は、「都市と森をつなぐ」をキーワードに森林保全活動を行う一般社団法人more trees様と宮川森林組合様との間に11月22日に包括連携協定を締結し、三重県多気郡大台町で「シモジマの森」として植林活動を開始いたしました。

今後も一般社団法人more trees様、宮川森林組合様と協働で、複数の樹種が混在し共生する、多様性のある森づくりに取り組んでまいります。

3. 使用済みストレッチフィルムの水平リサイクル開始

当社は、グループ会社である朝日樹脂工業株式会社の他、稲畑産業株式会社、ダイセーエコロジー株式会社と共同で、シモジマの配送センターから回収した使用済みのストレッチフィルムをペレット化した再生原料の一部を利用して、新たなストレッチフィルムを生産する「水平リサイクル」の取組みを開始いたしました。

※詳細はいずれも当社ホームページ（ニュースリリース）をご覧ください。

<https://www.shimojima.co.jp/ir/topics.html>

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は437億24百万円となり、前連結会計年度末に比べて37億円増加しました。流動資産は247億17百万円となり、32億56百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金で14億85百万円、売上債権で18億81百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。固定資産は190億6百万円となり、4億43百万円増加しました。主な要因は、東大阪配送センターの建設に伴い、有形固定資産が4億49百万円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は92億15百万円となり、前連結会計年度末に比べて18億71百万円増加しました。流動負債は79億25百万円となり、18億49百万円増加しました。主な要因は仕入債務で23億18百万円増加したものの、未払消費税等で2億13百万円、賞与引当金で2億円減少したことによるものであります。また、固定負債は12億90百万円となり、22百万円増加しました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は345億8百万円となり、前連結会計年度末に比べて18億29百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金が11億4百万円増加したこと、自己株式が7億14百万円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.7ポイント低下し、78.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想の修正につきましては、本日2024年2月9日に公表しております「2024年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,140	8,625
受取手形及び売掛金	6,989	8,451
電子記録債権	1,001	1,421
商品及び製品	5,274	5,253
原材料及び貯蔵品	596	578
その他	473	404
貸倒引当金	△15	△17
流動資産合計	21,460	24,717
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,783	5,336
土地	7,761	7,760
その他（純額）	1,994	892
有形固定資産合計	13,539	13,989
無形固定資産		
のれん	413	320
その他	1,205	1,071
無形固定資産合計	1,619	1,391
投資その他の資産		
その他	3,497	3,694
貸倒引当金	△93	△69
投資その他の資産合計	3,403	3,625
固定資産合計	18,562	19,006
資産合計	40,023	43,724

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,010	5,329
短期借入金	—	30
1年内返済予定の長期借入金	6	5
未払法人税等	831	743
賞与引当金	451	250
役員賞与引当金	97	33
その他	1,679	1,532
流動負債合計	6,075	7,925
固定負債		
長期借入金	76	32
退職給付に係る負債	352	399
その他	839	858
固定負債合計	1,268	1,290
負債合計	7,343	9,215
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,405	1,405
資本剰余金	1,299	1,273
利益剰余金	36,834	37,938
自己株式	△1,063	△349
株主資本合計	38,474	40,267
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	320	353
繰延ヘッジ損益	6	5
土地再評価差額金	△6,195	△6,195
退職給付に係る調整累計額	10	10
その他の包括利益累計額合計	△5,858	△5,825
非支配株主持分	63	66
純資産合計	32,679	34,508
負債純資産合計	40,023	43,724

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	41,969	44,604
売上原価	28,605	29,709
売上総利益	13,363	14,894
販売費及び一般管理費	11,527	11,759
営業利益	1,836	3,135
営業外収益		
受取利息	10	0
受取配当金	5	7
受取賃貸料	145	143
為替差益	—	15
貸倒引当金戻入額	—	22
匿名組合投資利益	59	—
その他	160	124
営業外収益合計	381	314
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	81	—
貸倒引当金繰入額	4	—
不動産賃貸原価	14	16
その他	15	11
営業外費用合計	117	28
経常利益	2,100	3,420
特別利益		
保険解約返戻金	171	1
特別利益合計	171	1
特別損失		
減損損失	5	—
解体撤去費用	28	—
保険解約損	14	0
特別損失合計	48	0
税金等調整前四半期純利益	2,223	3,421
法人税等	751	1,145
四半期純利益	1,471	2,275
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,467	2,271

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,471	2,275
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△53	32
繰延ヘッジ損益	△47	△1
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	△100	32
四半期包括利益	1,371	2,307
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,366	2,304
非支配株主に係る四半期包括利益	4	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年11月9日開催の取締役会決議に基づき、2023年11月20日付で、自己株式610,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が25百万円、利益剰余金が654百万円、自己株式が680百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,273百万円、利益剰余金が37,938百万円、自己株式が349百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日至2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	紙製品	化成品・ 包装資材	店舗用品				
売上高							
外部顧客への売上高	7,607	24,213	10,148	—	41,969	—	41,969
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	16	—	962	978	△978	—
計	7,607	24,229	10,148	962	42,947	△978	41,969
セグメント利益	883	1,791	451	17	3,144	△1,307	1,836

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、内容は連結グループ内における物流事業であります。

2. セグメント利益の調整額△1,307百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日至2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	紙製品	化成品・ 包装資材	店舗用品				
売上高							
外部顧客への売上高	7,814	26,374	10,415	—	44,604	—	44,604
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	19	—	1,057	1,077	△1,077	—
計	7,814	26,393	10,415	1,057	45,681	△1,077	44,604
セグメント利益	1,049	2,694	616	46	4,406	△1,271	3,135

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、内容は連結グループ内における物流事業であります。

2. セグメント利益の調整額△1,271百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。